
名古屋港の7月貨物量、6.2%減

Edited By LogisticsToday On 2018/10/25

名古屋港管理組合が24日発表した名古屋港統計速報（7月分）によると、総取扱貨物量は輸出入、移出入ともに減少し、全体で1599万トン（前年同月比6.2%減）となった。

入港船舶は隻数が2745隻（1.5%減）、総トン数は1953万トン（1.7%増）。外貿貨物は、輸出では自動車部品（5.2%減）、完成自動車（1.7%減）が減少し432万トン（1.9%減）となり、輸入は原油（39.2%減）、石炭（29.9%減）が減少し622万トン（8.2%減）と減少、全体では1053万トン（5.7%減）と前年実績を下回った。

内貿貨物は移出が297万トン（4.9%減）、移入が248万トン（9.7%減）、全体では545万トン（7.2%減）だった。

外貿コンテナ貨物量は397万トン（0.8%減）と前年実績を下回った。このうち輸出は自動車部品（5.1%減）、鋼材（15.5%減）が減少し、200万トン（2.2%減）と減少した。輸入は、金属製品（36.4%増）、衣服・身の回り品・はきもの（8.2%増）が増加し、197万トン（0.8%増）となった。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/328472>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.